



平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	18,520	△4.8	△138	—	△210	—	174	—
23年8月期第1四半期	19,457	△2.7	△978	—	△1,015	—	△1,439	—

(注) 包括利益 24年8月期第1四半期 169百万円 (—%) 23年8月期第1四半期 △1,430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	8.67	—
23年8月期第1四半期	△81.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年8月期第1四半期	51,647	25,193	48.5	1,246.68
23年8月期	52,069	25,145	48.0	1,243.77

(参考) 自己資本 24年8月期第1四半期 25,039百万円 23年8月期 24,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	10.00	—	6.00	16.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	5.00	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,400	△5.3	620	—	530	—	210	—	10.46
通期	77,500	△2.2	1,650	—	1,470	—	600	—	29.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名） 、 除外 2社 （社名） 株式会社イズ・プランニング
株式会社壽司岩
詳細は、添付資料3ページ【2. サマリー情報（その他）に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年8月期1Q	21,198,962 株	23年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	24年8月期1Q	1,114,294 株	23年8月期	1,114,274 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年8月期1Q	20,084,675 株	23年8月期1Q	17,584,728 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の影響により依然として厳しい状況にあるものの、一部に企業の生産活動や設備投資に持ち直しの動きもあり、緩やかな回復基調も見られました。一方で、海外景気の下振れ懸念や欧州における金融不安、長引く円高等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における収益力の早期回復」を最重点経営課題として認識し、既存店舗対策の強化、業態戦略の再構築、MD（マーチャンダイジング）戦略の更なる強化、営業施策の見直し、店舗オペレーションの改善策などに取り組みました。また、9月1日付で飲食事業を営む100%子会社である、株式会社イズ・プランニング及び株式会社壽司岩を当社に吸収合併いたしました。このグループ店舗網の集約化により、グループ店舗組織体制を刷新するとともに間接部門を中心とした大幅なコスト削減を図りました。

一方、店舗展開においては当社グループで新規出店を1店舗、店舗改装（業態転換を含む）を10店舗、店舗閉鎖を3店舗で行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.8%減少の18,520百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比103.7%と公表計画（101.6%）を上回って好調に推移しましたが、前期に95店舗の店舗閉鎖を行ったことが大きく影響したため、売上高は前年同期比5.3%減少の16,200百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社の売上不振等により、売上高は前年同期に比べ18.0%減少の813百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転賃が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.8%増加の224百万円となりました。

フランチャイズ事業の売上高につきましては、前年同期に比べ9.0%増加の101百万円となりました。

その他事業の売上高につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、前年同期に比べ13.1%増加の1,180百万円となりました。

一方、利益面につきましては、既存店売上高の好調に加えて、前期に行った大規模なリストラクチャリングによる収益改善や子会社吸収合併によるコスト削減効果等もあり、前年同期に比べては大幅改善にはなったものの、営業損失は138百万円（前年同期は営業損失978百万円）、経常損失は210百万円（前年同期は経常損失1,015百万円）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務に係る特別損失がなくなったことや、子会社吸収合併に伴い法人税等調整額が減少したことなどにより、四半期純利益は174百万円（前年同期は四半期純損失1,439百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,935百万円となり、前連結会計年度末に比べて74百万円増加となりました。これは、売掛金が99百万円増加したこと等が主な要因となっております。

また、固定資産は38,712百万円となり、前連結会計年度末に比べて496百万円減少となりました。これは、繰延税金資産が421百万円増加したことに対し、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が509百万円減少したことや敷金及び差入保証金が406百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は14,129百万円となり、前連結会計年度末に比べて118百万円増加となりました。これは、未払金が274百万円減少したことに対し、短期借入金が590百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は12,324百万円となり、前連結会計年度末に比べて587百万円減少となりました。これは、長期借入金が474百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は25,193百万円となり、前連結会計年度末に比べて47百万円増加となりました。これは、配当金による減少があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が53百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社の事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期（9～11月）の収益構造としては、売上高が他の3四半期間に比べて少なく、利益面については構成比率が大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期（12～2月）の売上高及び利益構成が非常に大きなウエイトを持っております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において連結子会社でありました株式会社イズ・プランニング及び株式会社壽司岩は、平成23年9月1日付で当社が吸収合併したため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,472	8,507
売掛金	2,218	2,317
商品及び製品	470	521
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	190	206
繰延税金資産	567	611
その他	1,179	1,045
貸倒引当金	△238	△273
流動資産合計	12,860	12,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,352	9,983
機械装置及び運搬具（純額）	268	277
工具、器具及び備品（純額）	966	932
土地	9,311	9,311
リース資産（純額）	1,920	1,803
建設仮勘定	1	4
有形固定資産合計	22,821	22,312
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	40	37
その他	152	150
無形固定資産合計	1,105	1,100
投資その他の資産		
投資有価証券	150	158
出資金	6	6
長期貸付金	62	59
差入保証金	8,391	8,220
敷金	4,866	4,630
繰延税金資産	1,623	2,045
その他	418	391
貸倒引当金	△238	△213
投資その他の資産合計	15,281	15,299
固定資産合計	39,208	38,712
資産合計	52,069	51,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345	2,259
短期借入金	3,975	4,565
1年内返済予定の長期借入金	2,364	2,281
1年内償還予定の社債	55	55
リース債務	539	541
未払金	3,049	2,775
未払法人税等	245	111
未払消費税等	199	351
賞与引当金	174	121
株主優待引当金	89	69
店舗閉鎖損失引当金	148	47
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	237	139
その他	507	731
流動負債合計	14,011	14,129
固定負債		
社債	3,867	3,867
長期借入金	4,001	3,526
リース債務	1,613	1,476
退職給付引当金	1,156	1,160
役員退職慰労引当金	523	512
受入保証金	607	623
資産除去債務	1,110	1,130
その他	31	26
固定負債合計	12,912	12,324
負債合計	26,924	26,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,141	8,194
自己株式	△1,304	△1,304
株主資本合計	25,370	25,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	51
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△390	△385
少数株主持分	164	154
純資産合計	25,145	25,193
負債純資産合計	52,069	51,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	19,457	18,520
売上原価	6,985	6,571
売上総利益	12,471	11,949
販売費及び一般管理費	13,449	12,087
営業損失 (△)	△978	△138
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
その他	21	23
営業外収益合計	24	26
営業外費用		
支払利息	48	44
貸倒引当金繰入額	0	6
その他	12	47
営業外費用合計	61	98
経常損失 (△)	△1,015	△210
特別利益		
固定資産売却益	2	5
貸倒引当金戻入額	5	—
賞与引当金戻入額	60	—
受取補償金	47	73
特別利益合計	115	78
特別損失		
固定資産除却損	23	23
店舗関係整理損	15	31
減損損失	24	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
特別損失合計	760	100
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,660	△231
法人税、住民税及び事業税	77	71
法人税等調整額	△301	△467
法人税等合計	△223	△396
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,437	164
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	2	△9
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,439	174

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,437	164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	4
その他の包括利益合計	6	4
四半期包括利益	△1,430	169
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,432	178
少数株主に係る四半期包括利益	2	△9

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,115	992	212	93	18,413	1,043	19,457	—	19,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	2,763	191	—	2,960	317	3,277	△3,277	—
計	17,120	3,756	404	93	21,374	1,361	22,735	△3,277	19,457
セグメント利益又は損失 (△)	△731	8	85	46	△590	17	△573	△404	△978

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△404百万円には、セグメント間の取引消去123百万円、のれんの償却額△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△527百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において24百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,200	813	224	101	17,340	1,180	18,520	—	18,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2,702	144	—	2,850	264	3,114	△3,114	—
計	16,203	3,515	369	101	20,190	1,444	21,635	△3,114	18,520
セグメント利益又は損失 (△)	97	144	56	81	379	△7	372	△510	△138

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△510百万円には、セグメント間の取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において45百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以上